

志免宇美線



私の視点「なぜここを質問したか」

志免宇美線の早期完成と県道 68 号線の慢性的渋滞解消に対する開通時期の見通し、完成までの間の渋滞緩和策、さらに町の取組と見解について問う。

こばやし たかあき
小林 孝昭 議員

県道68号線の渋滞緩和策は

答弁 (町長) 粘り強く働きかけを行っていく

録画配信は
こちらから▶



福岡県土整備事務所からは、橋などの大型構造物の施工に向け、道路用地の取得や物件補償に力を入れていくとの説明を受けている。

答 都市整備課長

問 今年度の志免宇美線の事業予定は。

答 都市整備課長

用地取得面積は、令和6年度末時点で本線用地総面積約1万6600㎡のうち契約済み面積が約6500㎡。進捗率は約39%となっている。

答 都市整備課長

問 志免宇美線の本町域における用地取得の進捗状況は。

答 都市整備課長

県道福岡太宰府線は、福岡市への通勤率が高く、慢性的な交通渋滞や歩道の未整備区間があり、特に光正寺古墳入口交差点は、朝夕の通勤時間帯の渋滞が発生している。

答 都市整備課長

問 県道68号線渋滞の発生箇所は。

答 都市整備課長

志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

答 都市整備課長

問 志免宇美線の早期完成を強く望むが、国の認可を受けている区間の完成時期と完成するまでの県道68号線の渋滞緩和策は。

答 都市整備課長

志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

答 都市整備課長

問 今年度の志免宇美線の事業予定は。

答 都市整備課長

用地取得面積は、令和6年度末時点で本線用地総面積約1万6600㎡のうち契約済み面積が約6500㎡。進捗率は約39%となっている。

答 都市整備課長

問 志免宇美線の本町域における用地取得の進捗状況は。

答 都市整備課長

県道福岡太宰府線は、福岡市への通勤率が高く、慢性的な交通渋滞や歩道の未整備区間があり、特に光正寺古墳入口交差点は、朝夕の通勤時間帯の渋滞が発生している。

答 都市整備課長

問 県道68号線渋滞の発生箇所は。

答 都市整備課長

志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。

答 都市整備課長

問 今年度の志免宇美線の事業予定は。

答 都市整備課長

用地取得面積は、令和6年度末時点で本線用地総面積約1万6600㎡のうち契約済み面積が約6500㎡。進捗率は約39%となっている。

答 都市整備課長

問 志免宇美線の本町域における用地取得の進捗状況は。

答 都市整備課長

県道福岡太宰府線は、福岡市への通勤率が高く、慢性的な交通渋滞や歩道の未整備区間があり、特に光正寺古墳入口交差点は、朝夕の通勤時間帯の渋滞が発生している。

答 都市整備課長

問 県道68号線渋滞の発生箇所は。

答 都市整備課長

志免宇美線は、福岡都市圏における広域幹線道路であり、社会的効果は非常に大きく、福岡都市圏の発展に寄与する重要な路線である。



県道 68 号線の渋滞

質問を終えて

開通までの渋滞緩和対策は極めて重要な課題であり、志免宇美線の日も早い実現を強く願っている。

部長に直接面会し、早期完成について申し入れを行った。

多文化共生



私の視点「なぜここを質問したか」

少子高齢化社会を迎える中で、今後もますます外国人住民の増加が予想される。共生のためには何が必要なのか問う。

なるみ けいや
鳴海 圭矢 議員

多文化共生のまちづくりへの取り組みは

答弁 (町長) 全ての人が住みやすいまちづくり

録画配信は
こちらから▶



問 本町の外国人住民の数は。また、その中で消防団に入団している人数は。

答 総務課長

令和7年8月末現在の外国人人口は、738人。同時期の本町の人口、3万6741人に対して約2%を占めている。消防団員については現在1名の方が在籍している。

答 総務課長

問 外国人が国民健康保険の予算を圧迫しているような話が流布しているが、国保加入している外国人の割合は。

答 住民課長

令和7年8月末時点で、加入者6262名のうち外国籍は136名(割合で2・17%)。直近1年間の利用状況はレセプト11万9911件中、外国人分は5011件(割合で0・45%)。

問 生活保護を受けている外国人の割合は。

答 福祉課長

受給状況は、全体の約1・5%程度。

答 総務課長

問 行政情報の多言語化、ゴミの出し方、その他生活の中での重要なルールや注意を呼び掛ける看板などに、日本語以外の表記が必要では。

答 総務課長

生活に密着する情報であるゴミの出し方リーフレット、わが家の防災ハンドブック、国保制度の概要については多言語化したものを配布している。

答 町長

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長

本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

現をめざした教育・啓発の推進」を施策の基本方針としている。外国人に対する差別や偏見をなくし、異なった文化や宗教、生活の習慣などお互いを認め合うことが大切。

教育の段階からしっかりと取り組み、町民にも啓発して、宇美町に住む全員が住みやすいまちづくりを進めていきたい。

答 町長

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

答 町長

本年3月に改訂した人権教育・啓発基本指針では、外国人の人権課題を盛り込み、「異なる文化を理解し、多様な文化を持つ人々が地域に居住する町民として、ともに生きる社会の実

現をめざした教育・啓発の推進」を施策の基本方針としている。外国人に対する差別や偏見をなくし、異なった文化や宗教、生活の習慣などお互いを認め合うことが大切。

答 町長

教育の段階からしっかりと取り組み、町民にも啓発して、宇美町に住む全員が住みやすいまちづくりを進めていきたい。

答 町長

問 外国人差別を防いで、多文化共生のまちづくりをどう進めていくか、町長の考えは。

質問を終えて

今後は外国人を単なる労働力ではなく、同じ町に住む人間として、お互いに尊重し合う関係を作ることが重要。



(イメージ画像)